

各部の名称および説明

**サンプルライン
コネクタ**

主電源ランプ

電源コードをコンセントに
接続時点灯

タッチスクリーン

変更したい箇所をタッチし、
コントロールホイールで調整、
およびメニューの選択や
ガイド画面の参照等に使用

液体トラップボトル

サンプルガスの水分を貯留

**インジェクターモジュール
ケーブルコネクタ**

インジェクターモジュールが
読み取った吸気流量の入力端子

**NO チューブ
コネクタ**

流量調整された
アイノフローの出口

コントロールホイール

NO 投与濃度、
アラーム値設定等

バックアップ切替スイッチ

故障時等の緊急用：右に倒すと
250ml/分のアイノフローを定量投与

NO/O₂ 出口ポート

蘇生バッグを接続

コントロールホイール

NO 投与濃度を調整

酸素流量調整

パージポート

低圧ホースのパージ
時にここへ差し込む

**低圧ホース
クイックコネクタ**

アイノフローボンベと接続

**低圧ホース
クイックコネクタ**

アイノブレンダー用

IR コネクタ

カートに接続し
ボンベと赤外線
通信する

アイノフロー DS
本体

**フィルター
カートリッジ**

サンプルガスの
水分や異物を除去

サンプルガス出口

電源コード接続口

オン / スタンバイ切替スイッチ

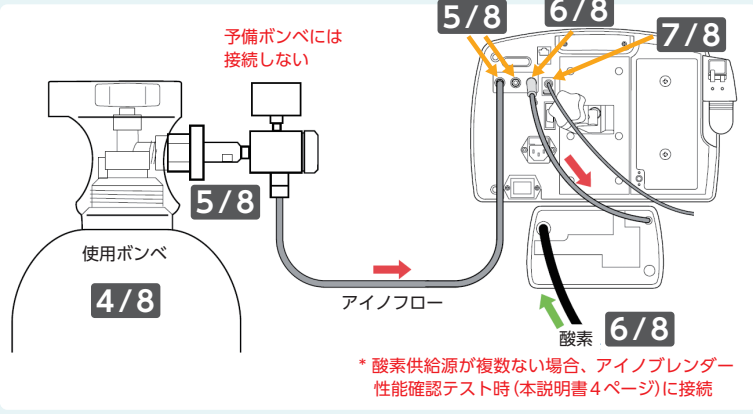
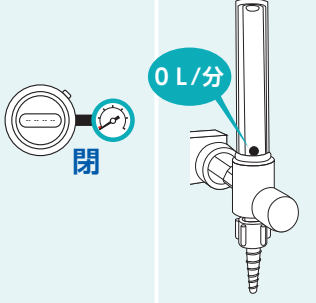
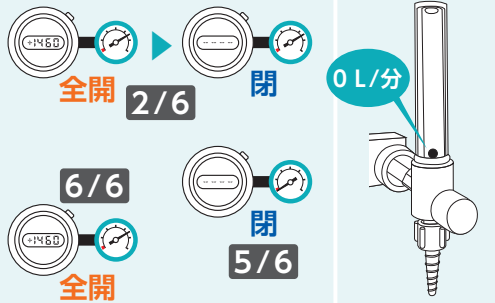
アイノブレンダー

酸素供給口

低圧ホース

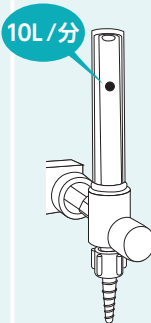
本体へ接続

使用前点検

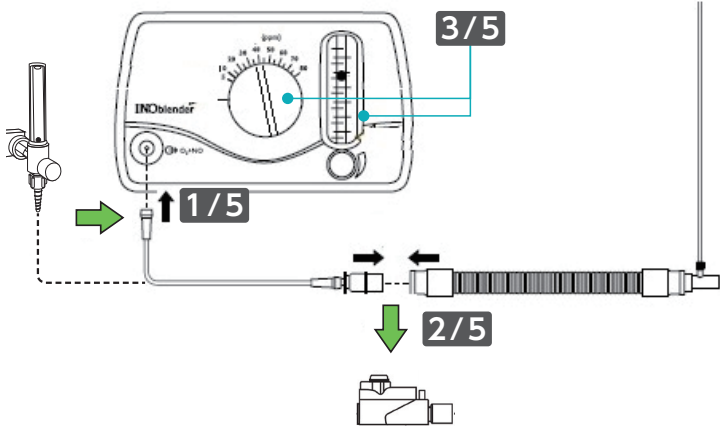
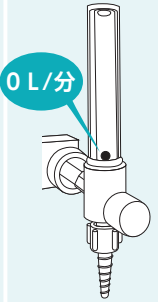
ステップ	手 順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計
酸素流量計と酸素供給源の接続 電源 ON → 低レンジ較正自動スタート				
初期接続				
	以下の接続・設置・点灯を確認			
1/8	- 液体トラップボトル - フィルターカートリッジ - サンプルライン 次へ	1/8 2/8 3/8		
2/8	インジェクターモジュール⇔DS本体 次へ			
3/8	AC電源接続 (主電源ランプ点灯確認) 次へ			
4/8	ポンベ2本の設置および使用期限確認 次へ			
5/8	高圧ゲージ付減圧弁を使う方のポンベに、低圧ホースを本体背面に接続 次へ			
6/8	- アイノブレンダーの接続 ▶ 低圧ホース⇔DS本体 ▶ 酸素供給用ホース⇔酸素供給源 次へ	5/8 6/8 7/8		
7/8	IRケーブルをDS本体に接続 次へ			
8/8	初期接続完了 次へ			
				
				
自動ページ				
1/6	使用ポンベと本体の接続確認 次へ	使用するポンベのみ接続のこと。		
2/6	ポンベを一旦全開にして閉める 次へ			
3/6	圧力ゲージ確認 次へ	残圧>500psi、針が 30 秒間動かないこと。		
4/6	次へ を押してページ開始	インジェクターモジュールが呼吸回路内にないこと。		
5/6	自動ページ中	「ポンベ残圧低下」アラームの発報を確認。		
6/6	ページ完了後、ポンベを全開にする 次へ			
				

詳細は取扱説明書をご参照ください。

使用前点検

ステップ	手 順	接続 / 確認 / 注意	ボンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計												
バックアップ投与機能確認テスト																
1 / 4	●使用前点検回路の組み立て	詳細は  を押して表示される回路図を参照														
	●酸素流量計を 10L/ 分に設定 															
2 / 4	●バックアップモードをオンにする 	 バックアップ ON アラーム発報を確認														
3 / 4	●値が安定したらモニター値を確認する 	NO ₂ : <1.0ppm、NO : 14 ~ 26ppm														
4 / 4	●バックアップ投与機能確認テスト完了	 <table border="1"><caption>吸気流量に基づく推定濃度</caption><thead><tr><th>流量 L/min</th><th>5</th><th>7.5</th><th>10</th><th>15</th><th>20</th></tr></thead><tbody><tr><td>NO ppm</td><td>40</td><td>27</td><td>20</td><td>13</td><td>10</td></tr></tbody></table>	流量 L/min	5	7.5	10	15	20	NO ppm	40	27	20	13	10		
	流量 L/min		5	7.5	10	15	20									
NO ppm	40	27	20	13	10											
	●バックアップモードをオフにする 															
投与性能確認テスト																
1 / 4	●酸素流量計の設定 (10L/ 分)を確認 															
2 / 4	●  を押すと、濃度が自動的に40ppmに設定される				NO モニター値が上昇する											
3 / 4	●値が安定したらモニター値を確認する				O ₂ : 92 ~ 98%、NO ₂ : <1.5ppm、NO : 35 ~ 45ppm * モニタリング値が範囲外になった場合は、取扱説明書第 4 章に記載のアラームヘルプを参照											
	●  を押すと、濃度が自動的に0ppmに設定される															
4 / 4	●投与性能確認テスト完了 	NO モニター値が低下する														

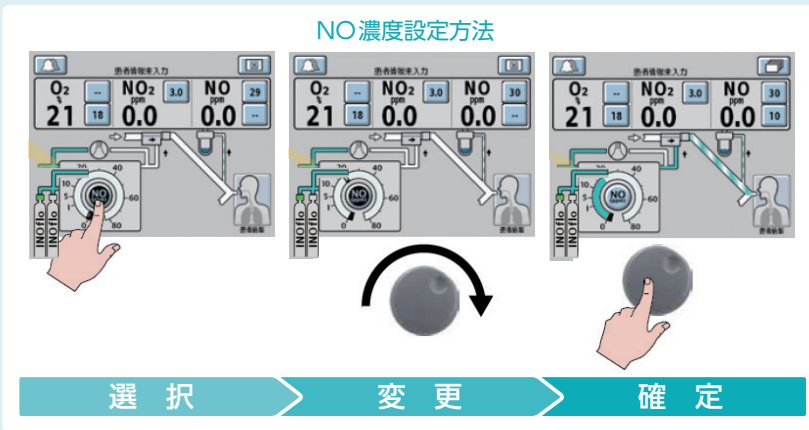
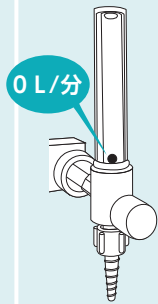
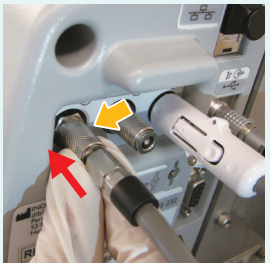
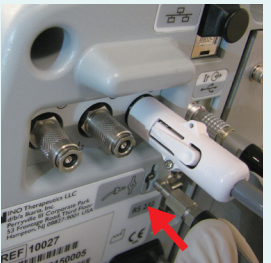
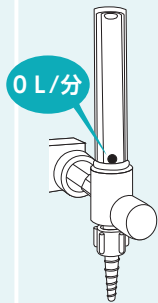
使用前点検

ステップ	手順	接続 / 確認 / 注意	ポンペ / 圧力ゲージ	酸素流量計
アイノブレンダー性能確認テスト				
1 / 5	• カートの酸素流量計をオフ(0L/分)にする • 酸素チューブをカートの酸素流量計から外す • アイノブレンダー正面に接続する 次へ	* アイノブレンダー背面の酸素ホースが酸素供給源に接続されていることを確認 		
2 / 5	• 回路からインジェクターモジュールを外し、回路を再接続する 次へ			
3 / 5	• アイノブレンダー正面パネルを操作して、投与濃度 40ppm、酸素流量 10L/分に設定する * カートの酸素流量計は操作しない			
4 / 5	• 値が安定したらモニター値を確認する 次へ			
5 / 5	• アイノブレンダー正面パネルを操作して、投与濃度と酸素流量設定をすべてゼロに戻す • 回路をすべて取り外す 次へ			

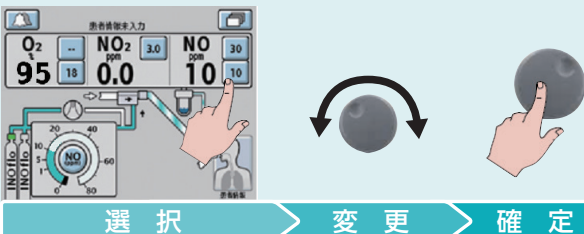
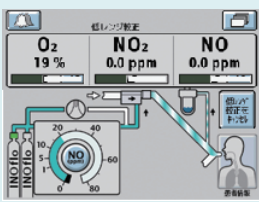
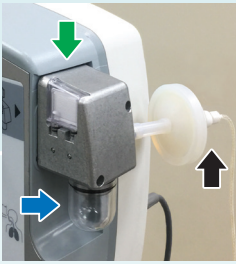
NO : 32 ~ 48ppm

使用前点検終了

投与開始準備(使用前点検終了後)

手 順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計
10 分以内に投与開始する場合 - インジェクターモジュールを呼吸器回路に組み込む - サンプル T 字管を呼吸器回路に組み込む - 投与濃度を設定する	NO 濃度設定方法  選 択 変 更 確 定	 全開	 0 L/分
10 分以内に投与開始しない場合 - ポンベを閉じる - 低圧ホースを外す (➡ 部分を一度本体側に押し込んでから外す) - 低圧ホースをパージする - 低圧ホースを本体に再接続する - インジェクターモジュールを呼吸器回路に組み込む - サンプル T 字管を呼吸器回路に組み込む 24 時間以内に投与開始時 - ポンベを全開にする - 投与濃度を設定する 24 時間以降に投与開始時 - 使用前点検に戻る	   	  全開	 0 L/分

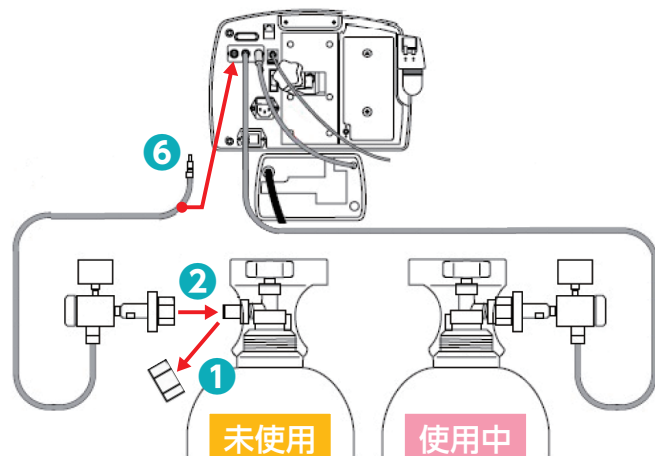
投与中の注意事項

投与濃度を変更したとき	アラームリミット設定方法	自動低レンジ校正	低レンジ校正中の画面
NO アラームのリミットを再設定する (自動設定されるのは初回濃度設定時のみのため)		自動低レンジ校正実行頻度 ● 濃度設定後 3、6、12 時間経過時 ● 上記以降 12 時間毎 ● 非投与時 (設定濃度ゼロ) 24 時間毎	 校正中 (約 3 分) は、室内空気のモニタリング値が表示される (故障ではありません)
主なアラーム	アラーム解消方法	主なアラーム	アラーム解消方法
高 NO 濃度 / 低 NO 濃度	● 上記に準じて NO アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● NO センサーを校正する ● インジェクターモジュールを交換する	投与中止	● バックアップによる投与に切り替える ● ボンベを交換する
高 NO ₂ 濃度	● パージが完了していることを確認する ● 上記に準じて NO₂ アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● NO₂ センサーを校正する	使用期限切れボンベ	● ボンベを交換する
高 O ₂ 濃度 / 低 O ₂ 濃度	● 上記に準じて O₂ アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● 人工呼吸器の酸素設定濃度を確認する ● O₂ センサーを校正する	インジェクターモジュール不良	● ケーブルの接続を確認する ● ケーブルを交換する ● インジェクターモジュールを交換する
ボンベ認識不能	● 赤外線ケーブルの接続を確認する ● カートとボンベ間の障害物を取り除く ● ボンベを交換する	バッテリー残量低下	● 電源ケーブルをコンセントに接続する ● 電源ケーブルと本体の接続を確認する
ボンベバルブ閉鎖中	● ボンベのバルブを全開にする ● カートとボンベ間の障害物を取り除く ● ボンベを交換する	ボンベ残圧低下	● ボンベのバルブを全開にする ● ボンベを交換する
投与失敗	● バックアップによる投与に切り替える ● 電源を切って再度立ち上げる	要点検 (Service Required)	● バックアップによる投与に切り替える 弊社にご連絡ください
		サンプルライン / フィルター不良	サンプルライン↑ またはフィルターカートリッジ↓を交換する 
		液体トラップボトル満水	液体トラップボトル→に溜まった水を廃棄する

詳細は取扱説明書をご参照ください。

ポンベの切替 (手順を守ってポンベを切り替えてください)

圧力ゲージの針がレッドゾーンに近づいたとき (<200psi)



未使用ポンベの操作

- ① 未使用ポンベのナットを外す
- ② 減圧弁を取り付ける
- ③ ポンベを**全開**にし、すぐに**閉**じる
- ④ 残圧>500psiを確認する
(通常約 2000psi)
針が 30 秒間動かないことを確認する
- ⑤ 低圧ホースをパージする
- ⑥ 低圧ホースをDS本体に接続する
- ⑦ ポンベを**全開**にする
**「ポンベ 2 本開放中」の
アラームが発報する**

使用中ポンベの操作

- ⑧ 使用中のポンベを**閉**じる
- ⑨ 低圧ホースを外す
- ⑩ 低圧ホースをパージする
- ⑪ 減圧弁を外す
- ⑫ 減圧弁をカートに収納する
- ⑬ 使用済ポンベのナットを閉める
- ⑭ 使用済みポンベをカートから下ろす
- ⑮ 新しい未使用ポンベをカートに固定する

投与終了時片付け (ポンベはしっかりと閉めてください)

投与濃度をゼロに設定後の手順

- ① ポンベを**閉**じる
- ② 低圧ホースを外す
- ③ 低圧ホースをパージする
- ④ 液体トラップボトルを清掃する
- ⑤ フィルターカートリッジを新品に交換する

再使用品

- インジェクターモジュール
 - ▶ オートクレーブ滅菌 または
 - ▶ アルコール消毒



- インジェクターモジュールケーブル
 - ▶ 清掃



- 液体トラップボトル
 - ▶ 清掃



廃棄品

- チューブ類
- コネクタ類
- フィルターカートリッジ

使用者による保守点検スケジュール

臨床使用前	臨床使用中 毎日	臨床使用後	毎月
使用前点検の実施	- アイノフローボンベの残圧確認 - 液体トラップボトルの水を廃棄	- インジェクターモジュール滅菌 - 液体トラップボトルの清掃 - 単回使用品の交換 - 電源コードのコンセント差し込みによる常時充電	- NO、NO₂、O₂ 各センサーの低レンジ較正および高レンジ較正 - 高圧ガス漏れテスト

緊急連絡先

昼間

夜間休日等

●選任外国製造医療機器等製造販売業者

 **エアウォーター株式会社**
埼玉県川越市南台一丁目5番地1

●外国製造医療機器等特例承認取得者

 **Mallinckrodt Pharmaceuticals**
マリンクロット マニファクチュアリング エルエルシー

詳細は取扱説明書をご参照ください。